



芳工連だより

‘17/06
第156号

□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : information@hokoren.com

□ 編集責任者 七井 真人

■ 定期総会を開催

5月24日開催した第28回定期総会には、会員企業47社から69名の御出席をいただき、委任状19社を合わせ66社の出席となりました。

来賓として見目匡芳賀町長、石川保町議会議長、香川眞史県産業労働観光部長部長（代理田口裕之企業立地班長）ほか、関係機関や団体代表の皆様にご臨席を賜りました。

議事については河合会長が議長を務め、上程した平成28年度の事業報告や決算報告、平成29年度の事業計画(案)や予算(案)が原案どおり可決されました。



挨拶で河合泰会長は「芳工連は会員企業の皆さまと共に、事業活動を支える「安全で安心な工業団地づくり」に邁進してきました。総務企画、環境整備、安全衛生、交通防犯の4部会が推進エンジンとして主要施策の実現に向けて事業を実施し、それぞれ成果を得ることができました。

昨年度は、交通渋滞を回避する迂回路として機能を果たす、周辺幹線道路の整備推進を栃木県にお願いしてまいりました。お蔭様で工業団地立地企業の規模拡大や事業継続計画性の観点から、交通渋滞が及ぼす影響を御理解いただき、バイパス道路の整備が進捗していることは有難いことです。

見目町長さんには、主要地方道宇都宮・向田線大塚工区の道路整備推進が喫緊の課題であることを御理解いただき、早期完成を推進する組織として『宇都宮・向田線大塚工区整備期成同盟会』を設置されました。そして、早期完成に向けて国土交通省への陳情の先頭に立っていただきました。ご尽力を高く評価したいと思います。

平成29年度も会員企業すべてから、芳工連活動に対する全面的な御支援と御協力をいただけるよう、事業活動の更なる充実を図るなかで満足度の向上を目指してまいります」と述べました。

見目匡町長は「芳賀町にとって芳賀工業団地の役割は重要です。4部会による熱心な事業活動で工業団地の環境が整っており、国内でも高い評価を得る工業団地と理解しています。第6次芳賀町振興計画に沿って、LRT事業や工業団地拡張など新規事業を推進する



ことで、将来の発展につなげたいと思っています。

また、交通渋滞の対策については、主要地方道宇都宮向田線大塚工区の整備促進に向け補助金を要求した結果、事業の早期完成に必要な予算を得ているので、順調に整備が進められるものと思います」と祝辞を述べました。

来賓を代表して石川保町議会議長、田口裕之県産業労働観光部企業立地班長からも祝辞を頂戴しました。



■ 懇親会

総会終了後の懇親会には、会員企業の皆さまとともに来賓多数のご出席をいただき、盛大に開催することができました。

4月の人事異動で新たに着任された方も多いことから、名刺交換や情報交換に絶好の機会となったようです。

また、芳賀温泉ロマンの湯料理長が腕を振った料理と美酒を堪能いただき、各テーブルは笑顔と談笑に包まれました。料理の中でも朝どれ新鮮野菜の揚げたてアツアツ天麩羅は大変好評でした。



■ 普通救命講習会を開催

安全衛生部会が主催する第1回普通救命講習会を5月30日開催しました。

今回も、参加者募集の御案内をして間もなく定員に達し、次回以降に参加をお願いする会員企業様が多数ございました。

受講された12社20名の皆さまは、消防芳賀分署の救急救命士から親切丁寧にご指導いただきました。

心肺蘇生の実技では、意識を確認し、助けを呼び、呼吸の確認、心臓マッサージ（胸骨圧迫）、気道の確保、人工呼吸、心肺蘇生の順に人形を使って確りと体験しました。LEDによる心肺蘇生の訓練についても、受講者がそれぞれ人形に電極パットを貼って、電気ショックと心肺蘇生を繰り返してトレーニングしました。

いつ、どこで、ケガや病気の人と遭遇するか予測できません。もしものときは躊躇することなく、講習会でトレーニングした方法で応急手当てを実践し、救急隊員へ引き継いでください。



■ 真岡労働基準協会が総会開催

5月18日、真岡市内で真岡労働基準協会の総会が開催されました。

挨拶で鈴木義行副会長は「長時間労働の削減対策、メンタルヘルス対策等の働き方改革に向けた様々な取り組みが求められていることから、協会としても同じ目線で推進することが重要と考えています。労働者の安全と健康の確保という協会の目的達成のため、計画された諸活動を積極的に推進していきたいと思っております」と挨拶しました。

上程された5議案は、すべて執行部提案のとおり可決されました。

栃木労働局労働基準部監督課 西川聡子課長は「栃木県内全体を見ると、3月の県内有効求人倍率が前月から0.02ポイント上昇し、リーマンショック以来1.30倍となり改善が進んでいます。人手不足、人材不足が深刻であるが働き方改革は必要です。

栃木県内の労働災害が3年連続増加しています。会員事業場の皆さまにも、基本的な安全管理の強化、リスクアセスメントの実施、さらに、全員参加での労働災害防止取り組みをお願いします」と祝辞を述べました。

真岡労働基準監督署 野沢卓也署長は「管内の労働災害発生は平成28年が死傷災害159件で前年の138件より21件約15%増加し、死亡災害で1人の尊い命が失われています。今年に入ってから4月末で死傷災害が48年と前年同期の43件より5件約12%増加し、死亡災害で既に2人の尊い命が失われ、大変憂慮すべき状況となっています。引き続きの御支援と御協力をお願いします」と祝辞を述べました。



■ 町政懇談会の開催

5月18日開催された平成29年度町政懇談会に芳工連から富永英夫副会長、渡良貴副会長、事務局長七井が出席しました。

この町政懇談会は、町の主要施策を自治会や各種委員さんなどの代表者に説明し、行政情報を共有することで、町がどのような事務事業に重点を置き、どのように推進するかなどについて御理解いただく目的で開催されています。

見目町長は、就任2年目を振り返り芳賀町の明るい話題として、LRT事業の特許認定、夏の甲子園大会で町内在住の若者が活躍、芳賀町産のこり梨のトップセールスなどを紹介しました。また、平成29年度の重点施策5分野について詳しく説明がありました。



■ L R T 事業説明会開催

5月24日に管理センターにおいて開催されたL R T 事業説明会に会員企業34社から41名の皆様が参加しました。

昨年度も総会開催に合わせ、芳賀町と宇都宮市の担当者からL R T 事業の詳しい説明（芳工連だより第144号）がありました。

今回はL R T 導入後の交通円滑化の確保、施工中の渋滞対策などの説明のほか、事前に町へ提出した質問に対して回答をいただきました。



交通円滑化に向けては、L R T 開通時までに国道408号宇都宮高根沢バイパス、宇都宮テクノ街道、産業通りなどの路線を整備する。また、円滑化の検証では主要交差点について高架化や交差点改良（右折・左折レーン整備や信号時間の調整）により円滑な交通が確保できるものと評価できた。自動車からL R T への転換がさらに進むことで更なる円滑化が期待できる、との説明です。

施工中の渋滞対策については、基本的に現況の車線数を確保しながら、道路の外側から中央に向かって段階的に現況の車線数を確保しながら施工する。また、車線規制を伴う場合は朝夕のピーク時を避け、工事施工区間は一定区間をまとめる。宇都宮駅から平出町までの車線が減少する区間については、軌道工事は最後とし開業前の車線数減少の期間を最小限とする。さらに、施工中においては、周辺の皆様に様々なメディア媒体により逐次、工事に係る情報の提供をする、との説明です。

会員企業様から、事前に提出された質問及び回答の要旨は、次のようなものです。

Q L R T のメリットは？

A 定時性の確保や速達性の向上、自動車事故の減少、沿線地域の活性化などが考えられる。速達性については、J R 宇都宮駅から終点まで自動車通勤ピーク時は約1時間かかるが、L R T で移動した場合は快速38分、各停44分となる。また、J R 宇都宮駅から芳賀バスターミナルまでバスは790円かかるが、L R T は400円（例えば通勤定期割引率を40%とした場合、最大240円）と低廉な料金で移動可能となる。

Q L R T 利用者における学生、通勤者の利用人数はどれくらいか？

A 平日1日（往復）あたり通勤目的の利用者が13,357人、通学目的の利用者が1,305人と見込んでいる。その他の目的で利用する人数を含めて合計で16,318人を見込んでいる。

Q 芳賀工業団地及び清原工業団地の利用人数はどれくらいか？

A 朝のピーク時間帯（7:30から8:30）の各工業団地付近停留場の降車人数は芳賀工業団地内が1,323人、清原工業団地が714人と見込んでいる。また、平日1日（6時から23時）における各工業団地付近停留場の乗降人数は、それぞれの工業団地従業員（芳賀工業団地：約2.2万人、清原工業団地：約1万人）の約2割程度（降車数：芳賀工業団地4,494人、清原工業団地1,797人 乗車数：芳賀工業団地4,144人、清原工業団地1,644人）となっている。

Q 宇都宮市内や芳賀町内の中心部から離れた地域での公共交通の整備状況はどのようか？

A 全域をドア・ツー・ドアで誰もが移動できる公共交通の整備は不可能であることから、鉄道

やLRT、バス、地域内交通などが効率的に連携した階層性のある公共交通ネットワークを構築し、公共交通空白・不便地域の解消に取り組んでいる。

Q 各停留場の駐車スペースを具体的に説明してほしい。

A 駐車場については、新たに平出町停留場、清原管理センター前停留場、芳賀町工業団地管理センター前停留場付近に整備を検討している。なお、芳賀町工業団地管理センター前停留場付近には100台規模の駐車場確保を目指している。

Q 自転車やバイクは、降雪時や降雨時などにレールで滑りやすいのでは？

A 交差点部におけるバイクの右折または自転車の横断は、軌道とほぼ直角方向に横切るためスリップしないものと考えられる。さらに、凸凹が少なく溝幅が小さいレールを採用して安全性に配慮する。

Q LRTが脱線事故を起こした場合の復旧作業を行う設備はどのようなものか？

A 油圧式ジャッキ、搬送台車などの脱線復旧機材を想定している。脱線するような事故は滅多に起こらないが、万が一そのような事態が発生した場合には、復旧に要する時間はその状況にもよるが、30分から1時間程度を想定している。

Q 管理センター方面から本田技術研究所への納品時、6～8分おきに前後からLRTが動いていけば右折は出来ない状況になると思われるが、どのように考えるか？

A LRTと自動車の交差点は原則として信号機のある交差点になる。その他の箇所では乱横断を防止するため、安全柵を設置するので右折は不可能となる。交差点以外における本田技術研究所への出入りは、高根沢方面からの左折のみとなることを基本としているが、個別の対応策の検討など、今後、より具体的な説明をさせていただきたい。

Q LRT軌道によって車線が減少する箇所で渋滞が想定されるが、現行通行台数からどれくらい台数が減少すれば渋滞が緩和するのか？

A 芳賀工業団地、清原工業団地の従業員のうち自家用車通勤者（推定29,652人）の3.6%が最低でもLRTに転換すると見込んでおり、その場合、2,134台（往復）が減少し、現況程度もしくは改善が図られる。さらに、自動車からLRTへの転換が進むことで、より多くの自動車が減少し、渋滞緩和につながると見込んでいる。
芳賀工業団地、清原工業団地の従業員のうち自家用車通勤者（推定29,652人）の3.6%（1,067台で往復2,134台）が最低でもLRTに転換すると設定している。

Q 車線が減少する箇所は、クロスするため自動車事故が発生しやすいと考えられるが、どのような対策を考えているのか？

A 合流区間の延長基準は65mであるが、本計画では約460mと長い合流区間を設けることで、より安全に合流できるものと考えている。

Q 自動車事故が発生した場合、手前から迂回を促すような情報提供を検討しているか？

A 事故情報はラジオ等を利用して周知を図る。また、VICS（渋滞や交通規制などの道路交通情報をFM放送や無線電波などを使ってリアルタイムにカーナビに届けるシステム）などの仕組みを活用した最新の情報提供技術についても検討するなど、適宜、情報発信できるよう取り組む。

Q LRTの計画路線に直結した高齢者が利用するような施設（病院・高齢者ケア施設・スーパー

ーマーケットなど)があれば教えてほしい。

A LRT沿線に病院やショッピング施設、保育所等の暮らしに必要な施設を誘導していく。

■ 出席された会員企業様から次のような再質問がありました。

Q LRT路線は管理センター前交差点化から北へ伸びる計画となっているが、これはホンダさんから要望があつてのことか？

A 要望は受けてない。芳賀町から宇都宮市に要望し、調査計画のなかで現在の路線計画ができた。

Q LRTの運行は6~8分間隔との説明であるが、交差点で待ち時間が増えることによる渋滞はないか？横断する際も現在よりも不便になる。

A LRTも信号によって止まる。(交差点部については、必要なら交差点改良(右折・左折レーン整備)や適切な信号点灯サイクルの変更などにより、円滑な交通が確保できるものと評価されている。)なお、進行点灯サイクルや沿線企業等への横断などについては、再度、詳細な資料でご説明させていただきたい。

■ 河合会長は「別途、会員企業から役員に対して、次のような質問が寄せられたので、持ち帰っていただき後日ご回答いただきたい。過去の説明会で話のあった基本的事項も含まれるかもしれないが、LRT事業への理解が深まるよう丁寧なご説明をいただきたい」と発言しました。

- 1 柳田街道、鬼怒通りにLRTを通行させる路線変更の検討について
- 2 鬼怒川に架けるLRT専用渡架橋を車両が通行できる橋梁へ変更する検討について
- 3 鬼怒通りルートを活かすため、LRT停留場を中心とした循環バス運行の検討について
- 4 LRTを管理センター前交差点から北進させず、祖母井方面へ延伸するか、管理センター前交差点までとする変更の検討について
- 5 交通渋滞を回避する道路として機能する宇都宮テクノ街道、国道408号バイパス、宇都宮向田線大塚工区の工事がLRT工事着手までに完了する見通しについて
- 6 LRTが高架で曲がる野高谷町交差点の設計に関する詳細説明について

※ 以上の質問に対する回答が届き次第、改めて会員企業様へお知らせいたします。

芳工連日誌

【5月の実績】

- 2日 芳賀町商工会理事会
- 8日 芳賀町ロマン花火2017実行委員会
- 11日 芳賀町観光協会理事会
- 18日 町政懇談会
- 18日 真岡労働基準協会総会
- 23日 芳賀町商工会第58回通常総会
- 24日 LRT事業説明会
- 24日 芳工連第28回定期総会
- 24日 資源ごみ回収日
- 25日 真岡地区暴追対策連絡協議会総会
- 26日 芳賀町観光協会通常総会
- 30日 普通救命講習会

【6月の予定】

- 8日 全国安全週間説明会
- 12日 労働災害防止団体等連絡会議
- 13日 団管連理事会
- 19日 安全衛生部会
- 20日 環境整備部会
- 21日 交通防犯部会
- 22日 総務企画部会
- 28日 資源ごみ回収日
- 30日 第1回役員会